ぎんまい長岡京

長岡京吟詠会 会報
第78号 令和8年10月1日
発行　長岡京吟詠会
会長　本庄賀秀峰

7/8の梅雨明けから、猛暑酷暑の夏
3ヶ月を経てのお届けです。

吟道賀堂流
第34回 吟士権者決定大会 終る！

9/13姫路市立図書館飾磨分館於て開催。総勢91番の出吟の中、長岡京吟詠会からは述べ20人が出場。第一部3名、第二部2名、第三部4名、第五部2名、そして第四部合吟には男女2グループ8名。残念ながら各賞には届きませんでしたがそれぞれに奮闘されました。来年に向けて、また明日から練習を積んでいこうと決意されたことと思います。

「高齢者招待吟詠」には95才の城戸賀秀義先生が堂々と出吟され、宗家から祝福の花束が贈られました。会場の皆が矍鑠とされたお姿と衰え知らずの吟詠に深い感銘を覚え、拍手喝采でした。

余香祭(9/10)に7名が参拝！

毎月25日に天満宮に参拝して吟の奉納をしていますが、この日は、道真公が左遷される前年の重陽の宴で「秋思詩」を作って醍醐天皇から賜った御衣の余香に追想して、左遷されるまでの栄誉や君恩を偲んで詠まれた「九月十日」を奉納しました。

玉串奉奠は、代表して永松様が恭しく拝礼してくださいました。

髙橋拓来くん おめでとう
全国吟詠コクール決勝大会へ!!

4/13の全国吟詠コンクール京都府大会幼年の部で優勝。そして8/2の近畿大会で優勝。そしていよいよ9/13の東京教育会館で開催される全国決勝大会に出場！と、快挙を成し遂げ躍進中!! 尚、7/26愛連ジュニアの部でも、4位を受賞されました。
（宗家杯と同じ日、全国決勝東京大会に出場。変声期にも拘らず健闘、第6位獲得!!）

拓来くんの「財団近畿大会優勝談」です。

僕は去年の秋ごろから変声期が始まって、今年は水2本でもガサガサした状況で本番を迎えました。でもおじいちゃんが、財団は拓来と相性がいいと言ってくれたので、情景を思い浮かべながら丁寧に、でも転句の盛り上がり思い切って吟じようと腹をくくって舞台に立ちました。みんなの、のびやかな高音を聴いていると自信がなくなったけれど、まさかの優勝で全国大会に出場させてもらえるので、ベストを尽くして頑張ってきます!!

新設クラブ紹介

「感吟第1詩吟クラブ」 指導者（辛嶋賀秀感）
開設 5月1日

「賀香詩吟クラブ」 指導者（後藤賀秀香）
開設 7月1日

おめでとうございます!!

7/12府連二部コンクール
一般入賞　辛嶋賀秀感

今後の予定

9/10　長岡天満宮余香祭
9/13　(賀)吟士権者決定大会
9/20　愛連一部決勝大会
9/27　後期資格認定会
11/ 1　長岡京吟詠会「吟剣詩舞大会」
　　及び「懇親会」(産業文化会館)
11/15　吟詠・剣詩舞道祭(八幡市文化センター)
12/ 5　親睦会(歴史探訪 近江八景を味わう)
　・多数のご参加よろしく！
12/25　長岡天満宮正式参拝

多数のご参加を！

①、**俳句の研修会開催**
10/21(講)、11/18(講)、12/16(未)の
3時から行われます。

②、吟詠・剣詩舞債11/15のチケット(千円)が
あります。お誘い合わせて多数ご参加ください。

新入会員ご紹介

名　前　神戸邦治(かんべくにはる)
居住地　長岡京市
入会日　令和8年7月1日(再入会)
所　属　賀香詩吟クラブ

よろしくお願いします

令和元年8月から令和5年5月まで長天詩吟クラブに所属していましたが、体調を崩して退会。その後も時折、発声したり絶句や和歌などを気の向くまま詠っていましたが、体調も落ち着いてきたのでこの度再入会しました。この間同期の吟友を失いとても寂しいのですが、共に学んだ思い出を大事にしながらも心新たに、少しでも力強い声で吟じられるよう、勉強していきたいと思います。

シルバー川柳

杖忘れ　走って店に　取りに行く
食べられん　鰻と寿司なら　食べるけど
一服の　カテキン頼みの　がん封じ
記憶力　衰えまいと　「音読」を
笑い袋　いつも持ってる　生き上手

会員投稿。 季節の便り

「酷暑日」の命名が必要なほど異常気象に翻弄された夏。皆様お元気に乗り越えられて何よりです。今回はお二人が寄稿してくださいました。

夏の散歩　　田中浩一

街中で百日紅の花を見かけるようになると、夏だなっと思います。この暑さは帽子だけでは焼け石に水です。日傘をさして外の空気を吸いに出掛けると、吟詠会の仲間に出会ったり、景色の変化に気付いたりします。

先日、よく通る第6小学校の東側の道路わきで、赤い郵便ポストを目にしました。「こんなところにあったかな？」、、、近付いて見るとずいぶん古いポストでした。「ひょっとして」と閉店したリバティの前を通ると、以前あったポストがありません。「いつの間に移動させた？」、、、街歩きは面白いです。

夏に思う　　松本佳祐

幼少期のお盆の頃、離れて暮らしていた父親に連れられ、祖父母の家がある和歌山を毎年訪れていた。外で遊ぶ子供の声も、行き交う車の音もしない、忙(せわ)しない社会から隔絶された特別な場所だった。

慌ただしい日々の中で段々と疎遠になっていってしまったが、あの時の景色や匂いは鮮明に憶えている。祖父母はもういなくなってしまったが、あの夏の思い出を共有した皆にまた会いたいと思う。今度は、あの時飲めなかったお酒で乾杯をしながら、、、

喫茶

～ほっと一息、休憩タイム～

―人生100年 最後まで笑顔―

「日本笑い学会」があるという。笑いの健康効果を説き、笑い笑わせながら生きていくと、がん細胞を攻撃するナチュラルキラー細胞が活性化するという。笑いは免疫力を高め健康を増進する。

2025年の平均寿命(2026年7/24厚労省発表)
(女)87、33才　(男)81、35才

会員さんから、季節の便り

はまゆうが咲いた！

冬に負け、球根が弱り、駄目だと思っていたはまゆうが、なんとも優しい香りを漂わせながら、見事に開花しました。

「長岡の語り部」 21Cへの伝承から。

方言(長岡弁)せんぐり・言うちゃはる・さいぜんな・いぬで・かいてえな・せたろうて行き・おせきでっか。

『ぎんまい長岡京』　編集室
編　集　長　後藤賀秀香
編集委員　宮小路、櫻澤、森川、松本、太田
※連絡・問合せ先　後藤賀秀香　Tel: 075-331-0241